

平成 27 年度鹿児島県看護協会鹿児島地区第 6 回研修会

テーマ 「ゲートキーパー養成講座」 2015 年 11 月 28 日 (土)

講師：鹿児島県臨床心理士会副会長 児玉 さら 先生



参加者 34 名 アンケート回収数 27 名

職種

看護師	19 名
准看護師	1 名
保健師	4 名
助産師	1 名
その他	2 名



年齢

20 歳代	4 名	30 歳代	8 名
40 歳代	6 名	50 歳代	8 名
60 歳代	1 名		

参加動機

1) 内容にひかれたから	23 名
2) 人に勧められたから	2 名
3) その他	2 名



研修内容の評価

・とてもよかった	21 名
・よかった	5 名
・ふつう	0 名
・あまりよくなかった	0 名
・よくなかった	0 名
・無回答	1 名



研修の感想やご意見

- ・引き続き研修を受けていかなければと思いました。
- ・年に1回先生の話しを聞くと「ここに気をつけてない」と自分をふりかえる事ができるので感謝しています。
- ・現在病院にも高齢者うつの方がおり経験がないため対応にすごく悩むところがあったが、どのような言葉かけや接し方がいいのか、無理に聞いたりしなくて良いとの言葉にとても救われました。
- ・気になるものの相談にのることさえ迷う背負う勇気のない部分がありました。専門的な知識のもと、その一歩がふみだせるようになりたいです。
- ・とても興味ある内容でした。個々の性格、背景等考えた上での言葉のかけ方傾聴の仕方等、学ぶことができました。
- ・思いをこめた言葉の大切さを感じました。自殺する方だけでなく病気で死を意識する患者に向かいあつての言葉かけも同じだと思いました。この研修を学校の先生方にも聞いてほしいなと思いました。
- ・今向き合っている患者への接し方に参考になった。自分の対応に不安があったが、無力でなく微力ながら、なんとか生きていてもらえるよう今後も関わっていきたい。
- ・内容、話し方がとても聞きやすく良い意味で面白かったです。うつ病の症状のポイントで一つ腰痛がでてきましたが、私の働く病院は整形外科のため週明けには特に患者さんが多く中には腰痛の方も多く検査で問題がないことも多いです。そういう時に表情などに目を向けていけたらと思いました。
- ・コミュニケーションの難しさを感じました。また自分の健康管理も大切だと思いました。いつか誰かそのような相談をされてきた時は真摯に受け止め対応しようと思いました。
- ・娘が統合失調症です。娘に対して、はっきり言って対応の仕方などとても迷っています。今のところ自殺の可能性はみられていませんが、とても今日、自分自身のために良かったです。今後また研修などありましたら是非参加したいと思います。
- ・ケアする方の注意やサポートの話もあって良かった。
- ・大変わかりやすい内容でした。
- ・「自殺」と2時間向き合ういい時間になりました。
- ・とても勉強になりました。先生の言葉がたくさん心に残りました。
- ・鹿児島でも自殺が多いことに驚きました。「自殺したいと思っている?」と声かけても良いんだと驚きました。今日のことをこれからの仕事に生かしていきたいです。
- ・価値観や倫理観を押し付けがちであったため相手に応じた言葉を選ぶことの必要性を学べた。
- ・現在身近に気持ちが沈んでいる人がいる中で、自分なりに考え声かけや対応をしてきたが、自分がしてきた事が、正しい内容(声かけ行動)だったのか不安だったが、今回の研修で色々知れてよかった。
- ・自殺、うつが日常生活に密着していると改めて感じる事ができとても勉強になりました。自分の心を安定させゆとりのある気持ちをもって常に接していきたいと思います。



今後、企画してほしい研修

- ・「支援者のためのストレスマネジメントについて」
鹿児島女子短期大学 松元理恵子先生

研修の時間、場所についてのご意見

- ・時間 場所は適当である。

研修を終えて

自殺について考える研修となり参加者全員が、大変よかったとの感想でした。この研修の参加者が増え、まず現状を知り、対応の仕方を学ぶことで少しでも自殺者が減少していけばいいなと思います。

平成 27 年 12 月 16 日 文責 荒殿 やすよ